

新宿連絡会 NEWS

vol.20 2000/11/29

2000-2001 世紀をまたぐ越年越冬闘争へ!



初の国会デモ
大成功!

頒価：100円

新宿野宿労働者の生活・就労保障を求める連絡会議・発行
東京都台東区日本堤1-25-11 山谷労働者福祉会館気付

TEL: 03-3876-7073/090-3818-3450 E-mail: inaba@jca.apc.org

<http://www.jca.apc.org/nojukusha/shinjuku/>

カンパ送り先：郵便振替口座 00170-1-723682 「新宿連絡会」

自立支援センターやっと開設

11月1日、新宿区役所で自立支援センターの入所受付が行われました。わずか15名の枠に対して、集まった野宿の仲間は66名。これから年末に向けて雇用が減少していくと見られることもあり、今回は応募を見送る人も多かったにもかかわらず、4倍強の「狭き門」になりました。15人の仲間は17日、自立支援センター「新宿寮」（新宿区大久保の民間宿泊所を活用したもの。定員は52名）に入寮しました。これに先立ち、台東区でも「台東寮」（定員102名）が開設され、23区で順次、入寮の受付が始まっています。

全都の野宿の仲間が求めてきた自立支援センターが本格的に開設されたのは、遅きに失したとは言え、歓迎されるべきことです。しかし、今回、開設された自立支援センターの定員は、二つの寮の定員をあわせても154名しかないため、各区の割り当ては数名から二十名（最大は台東区）といった少数になっています。来年度には他に三ヶ所に設置が予定されていますが、全都で6000人は下らないと見られている野宿者の数から見ると、圧倒的に枠が不足しており、また事業内容もまだまだ不十分なものとどまっています。



(説明会で話をする福祉局・中村部長)

10月30日、センター開設に先だって行なわれた東京都福祉局による説明会では、各地の仲間から事業内容についての質問、意見が出されました。保証人の問題、借金を抱えた仲間の問題、高齢の仲間の雇用確保の問題など、今後の課題は山積みです。新宿連絡会は全都実（全都野宿労働者統一行動実行委員会）の各構成団体とともに、寮の仲間への面会激励行動に取り組み、寮に入った仲間とともに事業内容の改善をかちとっていきたいと考えています。

初の国会行動かちとる！

やっと始まった自立支援事業ですが、野宿の仲間が声をあげ続けなければ、その規模・内容ともに改善をかちとることはできません。また現行の対策では「野宿に至ることを予防する」という観点は全く盛り込まれておらず、根本的な対策にはなっていない。この問題の解決のためには何よりも国の責任を明確化し、国のイニシアティブのもとに抜本的総合的な貧困者対策が必要だ、という観点から、今回の「貧しき民の大連合」（事務局・新宿連絡会）による国会行動は企画されました。「今世紀最初で最後！ホームレスの国会デモ」というふれこみで宣伝された国会行動には、新宿連絡会の呼びかけに応じて都内各地の野宿者当事者団体が参加し、10月20日当日には都内各地から約200名の野宿の当事者が集まりました。

当日は朝から新宿の大久保公園で「貧しき民の総決起集会」を開催し、「やり直しのできる社会」と「路上死のない21世紀」をかちとっていくために、国に対して「雇用確保と就労機会の保障」「低家賃住宅の確保」「生活保護の適正な運用」「市民的権利の保障」を四本柱として求めていくことを確認する決議文が採択されました。その後、デモ隊は新宿の繁華街を元気よく行進し、道行く人々に支援を訴えました。その後、途中でいったんデモを解散し、永田町まで電車で移動。再び

社会文化会館前に集まり、国会への請願行動に移っていきました。

永田町ではあいにくの雨の中、急遽、ビニール袋を雨合羽代わりにして、国会への行進をおこないました。参議院と衆議院の議員面会所前では社会民主党の議員が出迎えてくれ、それぞれエールを交換。野宿の仲間の代表が議員に「決議文」を提出しました。福島瑞穂参議院議員は、様々な分野で弱者がどんどん切り捨てられていく現状に抗して闘っていきこう、と力強くアピールし、「野宿者を切り捨てるな!」「失業者を切り捨てるな!」というシュプレヒコールを共にあげていきました。



(アピールする福島瑞穂参議院議員)

反失業行動に全国から結集!

20日の国会デモに続いて、翌21日には「反失業全国行動」として銀座・霞が関へのデモが行われました。この日の行動には、東京だけでなく、横浜・名古屋・大阪・神戸の野宿の仲間も合流し、計300名が参加。デモに先立つ集会では、オリンピック誘致にからんでテントの排除問題に揺れる大阪・長居公園に関して「特別決議」が採択され、強制排除が行われるような事態になれば全国から応援にかけつける、ということが確認されました。銀座の繁華街から中央官庁が並ぶ霞が関

まで歩くデモ行進では、「仕事よこせ!排除やめろ!」というコールを各地の仲間がともにあげていきました。

また22日には反失業全国交流集会在文京区民センターで開催され、各地の野宿の当事者が次々と登壇。各地の状況の違いをふまえながらも「一人では何もできない。まとまって行動を起こしていこう!」ということが何人もの仲間の口から発せられました。この日の集会では大都市だけでなく、神奈川県鎌倉市や小田原市、静岡県の静岡市や浜松市といった地方都市でも支援活動が開始されていることが報告され、今後さらに全国的なネットワークを強化していくこと、政府に対する取り組みを強めていくことが確認されました。

今回の一連の行動で野宿の当事者が、永田町・霞が関というこの国の中枢に初めて姿を現わしたことの意義は決して小さくはないでしょう。「追い出しではなく、野宿から脱せられる対策を!」「貧しくともやり直しのできる社会を作っていこう!」という野宿の仲間の声をさらに大きくし、連絡会としても粘り強い取り組みを続けていきたいと考えています。また、これから冬に入ります。各地での越冬の取り組みに対する皆様のあたたかいご支援をぜひよろしくお願い致します。

* 国会行動など野宿者関連の情報は以下のホームページでもご覧になれます。

・ろじゅく編集室ホームページ
<http://www.d9.dion.ne.jp/~rojuku/>

* 越冬の取り組みに対するご支援をお願いいたします。

・資金カンパ送り先
郵便振替口座 00170-1-723682
「新宿連絡会」あて

・米・衣類など物資カンパ送り先
東京都台東区日本堤1-25-11
山谷労働者福祉会館気付 新宿連絡会
(土日指定でお願いいたします)

上野公園追い出し工事反対！ 対策なき排除を許さない！

現在、上野公園には約300人の仲間がテント生活をおこなっています。その一角である科学博物館前のテント村に、11月1日、いきなり東部緑地管理事務所、上野公園管理所の職員20名余りがやってきました。24名の仲間が暮らすこの区域で突如として「工事を行なう」と言うのです。工事は「枯れ木を伐採して横の歩道を拡張する」という大がかりなもの。仲間からは「工事が終わればまたここでテントをはれるのか」「工事のあいだ、他の区域に避難できるのか」という質問があいついだにもかかわらず、「とにかく今月末までにテントをたたんでほしい。そして自立支援センターに入ってもらいたい」との回答のみ。「先に排除ありき」という強硬な姿勢に仲間からは怒りの声が出されました。

自立支援センター「台東寮」開設を口実に上野の仲間への排除圧力が強まることは予想されていました。9月28日、全都実と上野の仲間の有志は東部公園緑地事務所、上野公園管理所に申し入れ書を提出し、その場の交渉で「当面大きな工事の予定もないし、自立支援センターが開設されるからといって、テント生活の方に立ち退きの強要はしない」と約束させたばかりです。科学博物館前の「工事」の後には、公園内での他の区域での「工事」も予定されているとの情報もあり、今回

の動きが公園内のテントを減らしていくための策動であることは明らかです。

こうした動きに対して、上野公園の仲間はい山谷争議団・反失業闘争実行委員会の仲間とともにすぐさま反撃の闘いに立ち上がりました。11月8日の公園内での街頭相談には多くの仲間がつめかけ、東部公園緑地事務所への追及行動を展開。9日の台東区保健福祉部との交渉にも90名以上の仲間が集まり、4時間にも及ぶ交渉の末、(1)自立支援センターは排除の受け皿ではない。誤解なきよう東部公園緑地事務所に申し入れる、(2)現在上野公園で進行している事態について、東京都福祉局と協議する、との回答を得ました。

16日、22日に行なわれた東部公園緑地事務所との団体交渉にも上野の仲間だけでなく各地の仲間も参加し、追及の声をあげました。しかし役所側は「工事は計画通り行なう」との一点張り。その硬直ぶりの背後には「対策なき排除をしない」とした97年の東京都の方針転換後も東京都建設局に残存する「排除派」の影が見え隠れしています。

自立支援センター「台東寮」の台東区分の枠はずで埋まっており、今回の追い出しは「対策なき排除」に他なりません。上野の仲間の奮闘により、工事着工は12月以降に延期されましたが、まだ予断を許さない状況です。新宿連絡会としても上野の仲間の闘いを応援し、共に排除と闘っていく所存です。



連絡会医療班から

新宿連絡会医療班では、毎月第二日曜日、新宿中央公園ポケットパークでボランティアの医師・看護婦が参加した医療相談会を開催しています。医療相談では医師が診察して必要な人に市販薬をわたすほか、医療機関受診が必要な人には紹介状を書いて、翌日の福祉行動参加を呼びかけています。また9月より歯科医による歯科検診も始めました。

ボランティアの鍼灸師による鍼灸治療も並行して行なっています。

このかんの医療相談の結果は以下のとおりです。

*9/10 医療相談

受診：36人、紹介状を書いた人：7人

紹介状を書いた人のうち5人が翌日の福祉行動を通して病院を受診しました。

歯科検診：9人、紹介状を書いた人：6人
(うち1人のみ翌日受診)

*10/9 医療相談

受診：22人、紹介状を書いた人：8人 (うち1人はその場で救急入院)

紹介状を書いた人のうち6人が翌日の福祉行動を通して病院を受診しました。(1人が後日入院)

歯科検診：6人、紹介状を書いた人：3人

*11/12 医療相談

受診：7人、紹介状を書いた人：なし

この日は風邪で「葉だけほしい」という人が殺到し、医師の相談を受けたのは7人とどまりました。

歯科検診：2人、紹介状を書いた人：2人
(うち1人が翌日受診)

医療班としては、これからの冬の時期、医療相談の回数を増やすなどして、態勢の強化に努めたいと考えています。また、12月28日から1月4日朝までの越年期間には中央公園ポケットパークに臨時の医療テントを開設し、24時間態勢で対応していく予定です。

12月の医療相談は10日(日)と24日(日)、いずれも午後6時より、新宿中央公園ポケットパーク(雨天時は都庁第一庁舎わきの橋の下)にて行ないます。また越年期間中は30日(土)と3日(水)の2回、医療相談を行なう予定です。

新宿連絡会2000年8月-10月期

会計報告

< 収 入 >

郵便振替カンパ	79口	544,370
個人・団体カンパ		192,540
事業収益		54,860
計		791,770

収		-178,440
就労支援貸付金		94,500
返済金		50,000
前期繰越金		383,165

<残高> 160,225

< 支 出 >

米など炊事関連費	236,975
交通費	250,008
車両関連費	6,000
印刷費	24,148
コピー・DTP費	18,549
文具・図書費	14,739
通信費	72,870
倉庫家賃・水道光熱費	90,000
電話代	57,245
薬医療関連費	14,683
諸雑費	31,454
福利厚生費(夏祭り)	54,839
会費・賛同費	13,000
会場費	8,600
広告費	10,000
池袋活動費	67,100
計	970,210

活動日誌 2000/9/4-11/26

9/4 (月) 福祉行動 (7)
 9/6 (水) 高田馬場パトロール
 全都実池袋パトロール(154)
 9/8 (金) 中央公園パトロール
 9/10 (日) 炊き出し (16釜) 医療相談
 新宿パトロール
 9/11 (月) 福祉行動 (8)
 9/13 (水) 高田馬場パトロール
 全都実池袋パトロール(180)
 9/15 (金) 中央公園パトロール
 9/17 (日) 炊き出し (16釜)
 新宿パトロール
 9/18 (月) 福祉行動 (4うち入院1)
 9/20 (水) 高田馬場パトロール
 全都実池袋寄り合い、炊き出し
 9/22 (金) 都庁行動 (120)
 中央公園パトロール
 9/24 (日) 炊き出し (17釜)
 新宿パトロール (530)
 9/25 (月) 福祉行動 (5)
 9/27 (水) 高田馬場パトロール
 全都実池袋パトロール(203)
 9/29 (金) 都庁行動 (180)
 中央公園パトロール
 10/1 (日) 炊き出し (16釜)
 新宿パトロール
 10/2 (月) 福祉行動 (6うち入院1)
 10/4 (水) 高田馬場パトロール
 全都実池袋パトロール(187)
 10/6 (金) 新宿区役所前集会 (100)
 中央公園パトロール
 10/8 (日) 炊き出し (17釜)
 新宿パトロール
 10/10 (火) 福祉行動 (7)
 10/11 (水) 高田馬場パトロール
 全都実池袋パトロール(185)
 10/13 (金) 新宿区交渉 (120)
 中央公園パトロール
 10/15 (日) 炊き出し (16釜)

新宿パトロール
 10/16 (月) 福祉行動 (2)
 10/18 (水) 高田馬場パトロール
 全都実池袋パトロール(169)
 10/20 (金) 国会デモ (200)
 10/21 (土) 全国実銀座デモ (300)
 10/22 (日) 反失業全国集会 (200)
 炊き出し (17釜)
 新宿パトロール (507)
 10/23 (月) 福祉行動 (4うち入院1)
 10/25 (水) 高田馬場パトロール
 全都実池袋パトロール(220)
 10/27 (金) 中央公園パトロール
 10/29 (日) 炊き出し (16釜)
 新宿パトロール
 10/30 (月) 福祉行動 (2)
 自立支援事業説明会 (80)
 11/1 (水) 自立支援センター新宿寮受付
 高田馬場パトロール
 全都実池袋パトロール(162)
 11/3 (金) 中央公園パトロール
 11/5 (日) 炊き出し (17釜)
 新宿パトロール
 11/6 (月) 福祉行動 (5うち入院1)
 11/8 (水) 高田馬場パトロール
 全都実池袋パトロール(184)
 11/10 (金) 中央公園パトロール
 11/12 (日) 炊き出し (15釜) 医療相談
 新宿パトロール
 11/13 (月) 福祉行動 (4)
 11/15 (水) 高田馬場パトロール
 全都実池袋パトロール(186)
 11/16 (木) 上野公園団体交渉参加
 11/17 (金) 新宿区交渉 (120)
 中央公園パトロール
 11/19 (日) 炊き出し (16釜)
 新宿パトロール
 11/20 (月) 福祉行動 (3うち入院1)
 11/22 (水) 上野公園団体交渉参加
 高田馬場パトロール
 全都実池袋パトロール(171)
 11/24 (金) 中央公園パトロール
 11/26 (日) 炊き出し (15釜) 新宿寮面会
 新宿パトロール (556)

新宿連絡会協賛企画のお知らせ

12月17日の報告会では連絡会事務局の笠井和明が報告を行ないます。

るじょうし

孤独死のない21世紀を！！



1. 展示「新宿・路上生活写真展」
「ストリートチルドレン・100人の子どもたちの力」
「精神障害者とホームレス」
2. 炊き出し支援の現状報告（フードバンクの取組み）
3. ホームレスの現状報告・意見交換会

ホームレスについて考えてみませんか
仙台でも増えている孤独にされた人々

1. 展示 会場 仙台市福祉プラザ展示ロビー・市民活動サポートセンター
日時 平成12年12月10日～17日まで
午前9時～午後9時30分まで（最終日は4時）
2. 炊き出し支援の現状報告 会場 仙台市福祉プラザ
日時 平成12年12月16日 午後6時30分～9時
3. ホームレスの現状報告・意見交換会 会場 仙台市福祉プラザ
日時 平成12年12月17日 午後6時30分～9時

主催
「孤独死のない21世紀を！！」キャンペーン実行委員会
連絡先 〒980-0014 仙台市青葉区本町2丁目8-15 市民活動センター内

協賛

生き生き友の会 シャプラニール仙台・ポンドウの会
新宿連絡会 仙台自由クラブ フードバンク

後援

曹洞宗妙心院
河北新報社

TBC東北放送
朝日新聞社仙台支局

仙台放送 東日本放送
毎日新聞社仙台支局

入場無料

2000-2001 TOKYO 冬

路上の仲間の命は仲間の手で守る!

世紀をまたぐ新宿・池袋越年・越冬 闘争が始まる。

求む!米、毛布、衣類、現金カンパ

いよいよ冬。新宿連絡会と全都実・池袋では今年も新宿・池袋の仲間の越冬のための取り組みを12月から開始します。自立支援センター開設を勝ち取った力、初の国会闘争、全国闘争で国へと攻め上った力で仲間の命は仲間を守る冬のたたかいをやりきります。そのための物資カンパ、闘争資金カンパを今年も是非とも宜しくお願い致します。

(送付先は下記住所、土日指定でお願いします)



12月3日(日) 越冬闘争突入集会 午後6時 新宿中央公園
ポケットパーク

12月23日(土) 越年・越冬闘争支援連帯集会
午後6時より四谷区民センター12階他目的ホール
新宿区内藤町87番地

地下鉄丸の内線「新宿御苑駅」より徒歩5分/都バス「新宿1丁目」バス停より徒歩2分

12月28日(木) 第7回新宿越年闘争突入
新宿中央公園ポケットパーク(1月4日まで)

12月30日(土) 第2回池袋越年闘争突入
南池袋公園(1月4日まで)

新宿連絡会

東京都台東区日本堤1-25-11山谷労働者福祉会館気付
☎03-3876-7073/090-3818-3450FAX03-3876-7076
<http://www.jca.apc.org/nojukusha/shinjuku>

E-mail inaba@jca.apc.org

全都実・池袋

070-6671-1204(内田)

カンパ金送り先・新宿、池袋共に
郵便振替口座: 00170-1-723682「新宿連絡会」